

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築プログラム
拠点機関におけるデータ共有基盤の構築・強化委託業務 委託業務概要

業務実施研究機関

研究機関名： 国立大学法人 一橋大学
本部所在地： 東京都国立市中2-1
代表者氏名・役職： 蓼沼宏一・学長

業務実施研究所等

研究所等名： 一橋大学経済研究所
所在地： 東京都国立市中2-1
代表者氏名・役職： 小塩隆士・所長

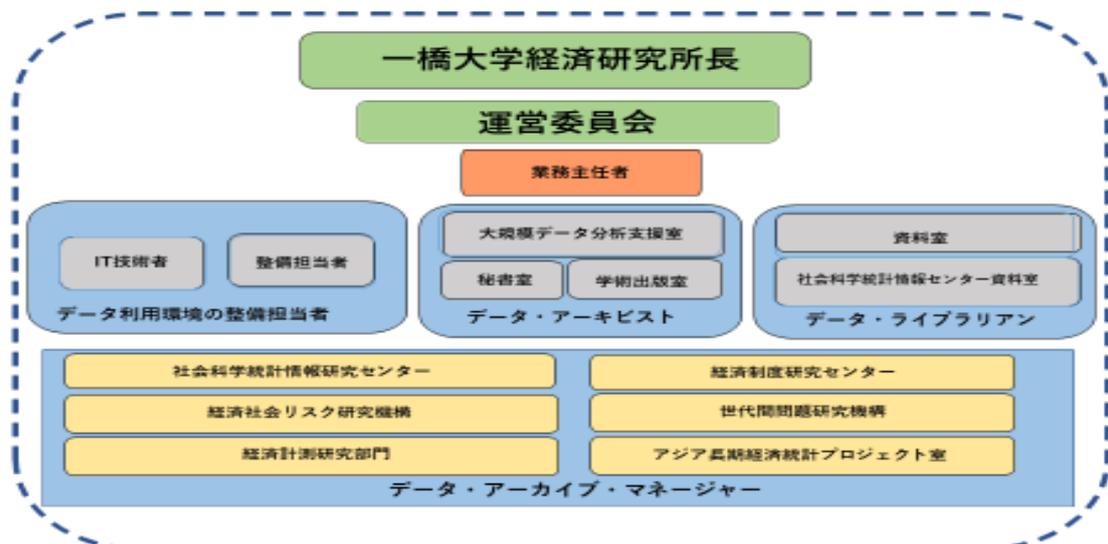
業務主任者氏名・役職

氏名・役職： 白川清美・准教授

委託業務実施期間

平成30年10月16日～2021年3月31日

業務実施体制図、説明文（概要）



本委託業務を円滑に遂行するため、これまでの共同利用・共同研究拠点データ・アーカイブ分析セクションを拡充し、人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築のためのプログラム構成員を編成する。また、若手研究者育成を考慮した配置とする。

本委託業務の実施体制は、上記の業務実施体制図のとおりとする。重要事項を決定し、各部門に配置された専門家等を統合するため、経済研究所長の下に運営委員会を設置し、拠点の業務全体を統括する。またその下に「業務主任者」を置く。データ・アーキビストは、大規模データ分析支援室、秘書室及び学術出版室の専門スタッフ・事務員を、データ・ライブラリアンは、資料室及び社会科学統計情報研究センター資料室の専門スタッフ・事務員を充

てる。さらに、IT技術者には、本研究所のネットワーク担当者を充て、高度なデータ利用環境の整備・構築を支援する。

配分（予定）額

（単位：千円）

平成30年度	平成31年度 (2019年度)	2020年度
32,500	32,500	32,500

※平成31年度（2019年度）・2020年度については予定額

業務の目的・意義、拠点機関としての役割

長期間をカバーする政府統計データのデータベース化、調査票情報等メタデータの整備、政府統計個票の集計データや加工統計（オーダーメイド集計、歴史統計、産業構造データベース及び国際比較データベース等）の整理、及びこれらデータの英語化や国内外への発信、個票データの利用可能性の向上、等を通じて、国内外研究者コミュニティによる政府統計データやその集計・加工データの利活用を促進する総合的なシステムを構築する。人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築プログラムは、人文学・社会科学研究に係るデータを分野や国を超えて共有・利活用する総合的なシステムを構築することを目的としていることから、一橋大学経済研究所は日本学術振興会と一体となって本目的の達成に向けて取り組む。なお、人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築プログラムにおいて、日本学術振興会は民間のデータベースを含めた総合的なデータカタログ整備を予定しているが、政府統計は多くの経済社会活動をカバーしているため、本拠点のデータベースは、データカタログ整備の基盤としても機能しうる。日本学術振興会と連携しながら、本拠点はこのような役割も果たすことをめざす。

業務計画の概要

下記の業務計画に基づいて行う。

- ① 長期間をカバーする政府統計データや調査票情報等メタデータのデータベース化・英語化
 - ・ウェブページの作成および利用実績を把握するシステムの構築
 - ・『日本統計年鑑』データベースの構築を開始する
 - ・調査票情報等メタデータのデータベース化
- ② 政府統計個票の集計データや加工統計の収集・整理と公開
 - ・オーダーメイド集計を支援し結果を公開する体制の整備
 - ・本拠点が作成してきたデータベースの公開
 - ・産業別・地域別データベースの整理・英文化・公開
- ③ 個票データの利用可能性の向上
 - ・政府統計マイクロデータ利用推進
 - ・政府統計メタデータの更なる整備
 - ・日本の政府統計マイクロデータを海外で利用可能にする環境の整備
 - ・機密性の担保